



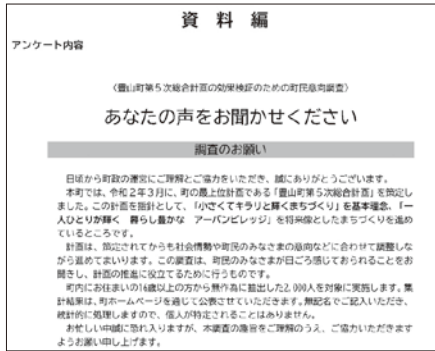
しばたけんいち
柴田賢一 議員
SHIBATA Kenichi

Q. 町民意識調査 信頼性の向上を

A. 回収率を上げる 努力をしていく

Q 町民意識調査を継続しているのは、どのような理由からか。

A 町民意識調査を継続しているのは、どのような理由からか。



令和3年11月1日から15日
かけ、令和3年度町民意識
調査が行われた。この調査方
法や調査結果について問う。

令和3年度 町民意識調査回収率分析

年代	回収率	回収数※1 / 発送数※2
10代	3.1%	3人 / 97人
20代	11.4%	33人 / 290人
30代	23.7%	80人 / 338人
40代	39.8%	101人 / 254人
50代	23.7%	80人 / 338人
60代	35.3%	79人 / 224人
70代~	34.9%	160人 / 459人
無回答	—	64人 / —
合計	30.0%	600人 / 2,000人

※1 調査回答者年齢から算出 ※2 年代別人口から比例により算出
→10代、20代の回収率が低い。全体的に回収率の向上が求められる。

Q 信頼性向上、コスト削減のために回収率を引き上げる方策が必要ではないか。

A 回収率のわずかな差により、調査の信頼性が大きく変動することはないと考えている。しかし、回収率が高ければ高いほど信頼性が向上するのは、ご指摘のとおりである。従って、設問数や設問の内容、インターネットの活用による回答方法の工夫などにより、回収率を少しでも上げていくよう努力をしていく。

Q プラの戸別収集には、どのような障害があるのか。

A 生活福祉部長
現時点では処理を含め、一括収集可能な業者が極めて少ないことが大きな課題である。今後、請負可能な適切な事業者を探すとともに関連する課題にも取り組んでいく。

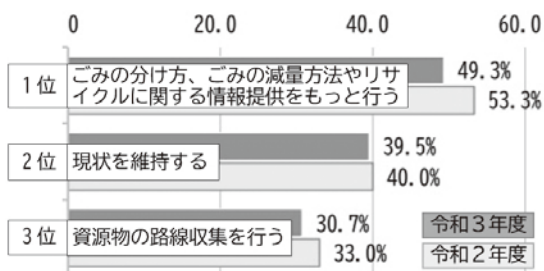
豊山町は、いつから?

【令和4年4月施行】
プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律により、以下のプラごみ(可燃ごみ)はリサイクル資源になります。

プラスチック製のおもちゃ、プラスチック製ハンガー、カセット(ビデオ)テープ、CD・DVD及びケース、洗面器、ポリバケツ、歯ブラシ…など

「可燃ごみ」に出してください

令和3年度 町民意識調査結果より 【ごみの減量やリサイクル推進に必要な取り組み】



Q 容器包装プラが可燃物として排出されない工夫は、

A 生活福祉部長
令和元年度の調査では、容器包装プラの4割ほどが可燃ごみとして排出されているとの結果となった。今後は、さらに分かりやすい周知方法について検討していきたい。

Q. プラごみと資源 一括戸別収集を

A. 適切な事業者を探す